

ほのほのだより

～園の歌を手話で歌おう～

2月の歌は「やぎさんゆうびん」です。

まど みちお 作詞 團井 玖磨 作曲

しろやぎさんとくろやぎさんのやりとりが可愛らしい歌ですね。子ども達も「お手紙食べちゃったらだめだよね～」 「なんで食べちゃったのかな？」などと歌詞の内容を楽しんで歌っています。手話を覚える、と思うとなんだか難しいものに思いますがこの歌に出てくる「しろ」「手紙」など言葉の意味になぞらえて表現されるものも多く、覚えやすい物もたくさんあります。子ども達と一緒に覚え、かわいらしい歌を楽しんで歌っていきたいと思います。

① しろ



歯を見せるように軽く開いた口元で、右手のひとさし指で前歯を指さし、左へ動かす。

② やぎさん



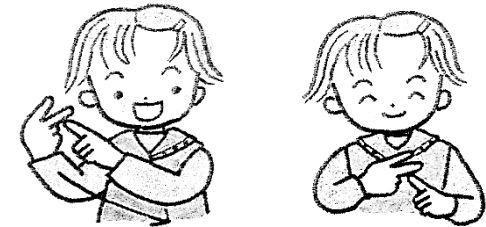
あごに手を当て、握りながら下におろす（「ヤギ」の手話）。*ヤギのひげを表しています。

③ から



右斜め上を指さす。
*「～から」という手話はほかにありますが、ここでは手紙の送り手である白やぎさんを指さしています。

④ おてがみついた



右手のひとさし指と中指を出し、その下に左手のひとさし指を当てて、「〒」マークを作り（「手紙」の手話）、右斜め前方から胸元に動かす。

⑤ くろ



右手指先で髪の毛をさわる。
*手話では髪の毛が黒いようすを指して「黒い」という意味を表します。

⑥ やぎさんたら



②と同じように
*慣れてきたら「たら」のところで、黒やぎさんをイメージして左斜め上を指さしてみましょう。
あごに手を当て、握りながら下におろす（「ヤギ」の手話）。*ヤギのひげを表しています。

⑦ よまずに



手のひらを自分に向けて左手を出し、右手のひとさし指と中指で字面を追うように縦に動かす（「読む」の表現）。そして、両手のひらを相手に向けてしてから、左右同時に手首を返して自分の方に向ける（「ない」の表現）。

⑧ たべた



胸の前で紙を持つように広げた手を口元にもってくる。

⑨ しかたがないので



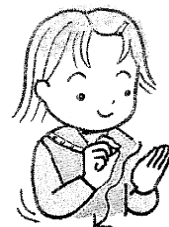
手のひらを上に向けた右手の小指側を左肩に当て、体につけたまま右下におろす。
*自分の体を切るようすを表しています。

⑩ おてがみ



右手のひとさし指と中指を出し、その下に左手のひとさし指を当てて、「〒」マークを作る。

⑪ かいた



手のひらを自分に向けて左手を出し（短冊に見立てています）、そこに字を書くように、ペンを持った形の右手を縦に動かす。

⑫ さっきの



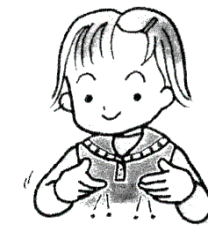
手のひらを後ろに向け5指を伸ばした右手を顔の横から後ろに動かす。
*自分の体より後ろが過去を表します。

⑬ てがみの



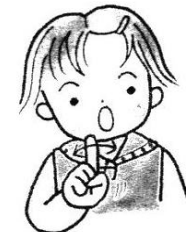
右手のひとさし指と中指を出し、その下に左手のひとさし指を当てて、「〒」マークを作る。

⑭ ごようじ



両手の指先をそろえて2回トントンと胸に当てる。

⑮ なあに？



尋ねる表情で右手のひとさし指を立て、軽く左右に振る。

※ 2番 「くろやぎさんから～」(全て同じ手話)

チャイルド社 「園行事に使える手話ソング」 参照